3．地域との対話の重視

地域との対話をすすめることにより、地域に根ざしたより良い社会資本整備・管理に努めます。

事例1　地域づくりレポーターの設置

国民の意見・要望等を広く収集し社会資本整備に反映させることを目的に住民の方々がより地域づくりに参加出来る取り組みを実施しています。



▲　地域づくりレポーター会議の開催状況

事例2　市民との対話によるみちづくり

一般国道13号古舘地区では、前囲歩道橋の改善計画について地域の皆さまの意見を伺いながら、安全な通学路の整備を進めています。



▲市民と一緒に歩道橋の取扱について検討

事例3　公共建築についてのイベントを開催

地域住民と一緒に段ボールで家を作り、町を創りあげるイベントを開催し、建築やまちづくりに対し親近感をもってもらう取り組みを実施しています。



▲段ボールの家で、小さなまちづくりを体験

事例4　ドライブ・インフォステーション

（H15.9～岩手県内）

ガソリンスタンドを道路の固定情報拠点とし、道路利用者からの情報を活用します。



▲ドライブ・インフォステーション

事例5　総合的学習への支援

酒田港では、海や港への関心を高めることを目的として、将来を担う子供達の総合学習を地域の方々と協働して支援しています。



▲砂浜に漂着した宝(ゴミ)探しをとおして、リサイクルの大切さについて理解を深めている様子

事例6　住民の「活動・交流・連携」を支援

仙台市のNPO法人「広瀬川の清流を守る会」が実施している水質保全、河川愛護（美化）、川を軸としたまちづくり等に関する取り組みを支援し、住民と一体となってより良い地域の形成を図ります。



▲「広瀬川の清流を守る会」によるホタルの移植